

経営比較分析表（令和元年度決算）

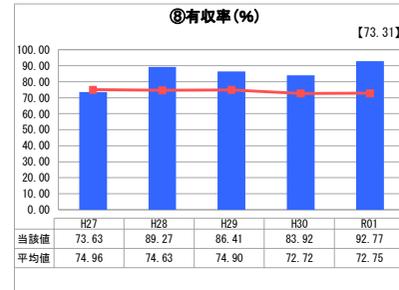
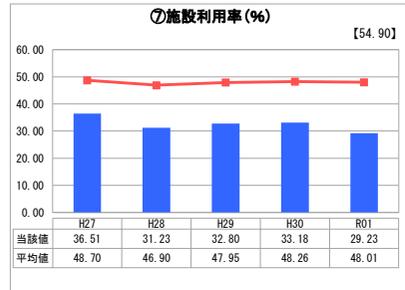
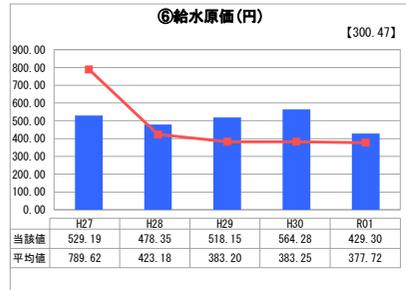
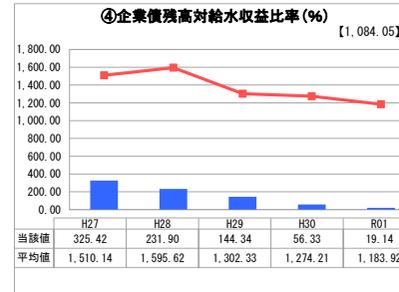
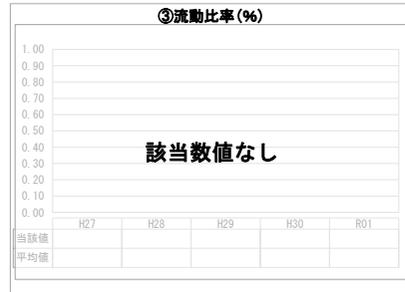
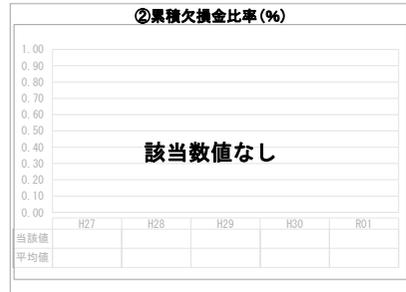
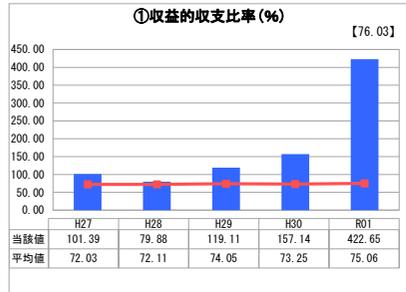
宮崎県 川南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客塵料金(円)	
-	該当数値なし	1.14	3,828	

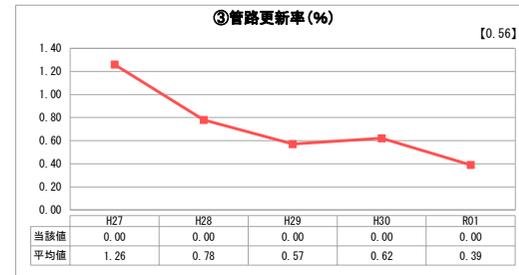
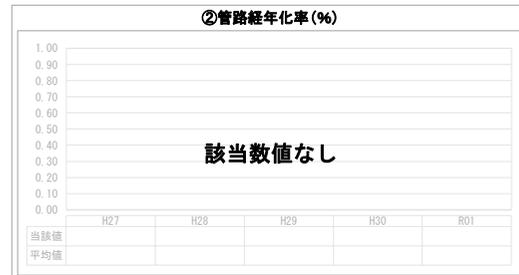
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,642	90.12	173.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
177	2.25	78.67

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
令和元年度が当初決算であったため100%を大きく超えています。県内では高い料金設定となっており、給水人口の減少により安定した給水収入が見込めないため、他会計繰入金に依存している状況です。

④企業債残高対給水収益比率
平成8年以降は起債がなく、順調に償還しており、減少傾向となっています。

⑤料金回収率
平均値より高い状態ですが、100%を大きく下回っています。他会計繰入金に大きく依存している状況となっています。

⑥給水原価
平均よりもやや高い状況にあります。給水人口規模が小さいため、維持管理費の負担が大きい状況です。

⑦施設利用率
給水人口規模が小さいため、平均値を下回っています。効率性に配慮した施設規模の見直しが必要な状況です。

⑧有収率
平均よりも上回っています。今後もより高い有収率を保つ必要があります。

2. 老朽化の状況について

③管路更新率
近年は、管路更新の実施はありません。機械設備等の計画的な更新が必要となっており、料金回収率が低い中で、更新費用の財源確保が困難な状況が続いています。

全体総括

給水人口規模が小さく、人口減少の傾向にあるため、料金回収率や施設利用率の低さにつながってまいりました。将来の施設や管路の更新等を考慮すると、料金値上げや施設規模縮小が避けられない状況ですが、今以上の料金値上げや規模縮小は困難なため、簡易水道事業については、令和2年度から水道事業と統合しました。